

令和7年度

シラバス

(年間指導計画)

静岡県東部総合美容専門学校

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

(衛生専門課程美容学科) 令和7年度															
分類			授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	衛生行政・美容師法など美容師と関係法規について学ぶ	1通	31	1	○			○		○		
○			衛生管理	公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ	1・2通	93	3	○			○		○		
○			保健	人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ	1・2通	93	3	○			○		○		
○			文化論	美容の歴史、美容テ「サイン」について学ぶ	1・2通	62	2	○			○		○		
○			美容技術理論	美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ	1・2通	155	5	○			○		○		
○			運営管理	サロン経営に必要な接客技術、労務管理、マーケティングなどを学ぶ	2 1.2	31	1	○			○		○	○	
○			美容実習	シャンプー、カット、ワインディングなど美容師として必要な基礎的技術からメイク、ネイルなど様々な技術を習得する。サロンワークの流れを知る	1・2通	930	30			○	○	○	○	○	
	○		美術・デッサン	パーソナルカラーの理解、スタイル画を学ぶ	1・2通	124	4	○	○		○		○	○	
	○		栄養理論	健康や美を保つための栄養素について基本を学ぶ	1通	62	2	○			○		○		
	○		エステティック着付	エステティック概論、フェイシャルエステ基礎技術の習得、着付け概論から、浴衣、留袖を着せられる技術を習得	1通	62	2	○		○	○		○		
	○		総合技術	ヘアケアの知識、福祉美容について学ぶ	1通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		総合技術ABCDコース	より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを5コースの中から選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指す	2通	124	4	○		○	○		○	○	
	○		選択S	国家試験課題や様々な美容技術ができるようになる。	2通	62	2	○		○	○		○	○	
合計				13科目	1891単位時間(61単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年において、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、筆記・実技全ての試験に合格していること。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	16週

昼間課程教育課程及び授業時数

昼間課程教育課程及び授業時数

【衛生専門課程美容学科】令和7年度

	課目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備考	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	30	31		31		
	衛生管理	90	31	62	93		
	保健	90	62	31	93		
	化粧品化学	60	31	31	62		
	文化論	60	31	31	62		
	美容技術理論	150	93	62	155		
	運営管理	30		31	31		
	美容実習	900	451	479	930		
	計	1410	730	727	1457		
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計	備考	
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124		
	美容教養基礎		62	62	124		
	栄養理論		62		62		
	エステティック・着付		62		62		
	総合技術 選択 A		62	124	186	選択	A ヘアメイクコース
	選択 B						B ネイルコース
	選択 C						C プライダルコース
選択 D	D エステティックコース						
選択 S							
計	600	324	296	620			
合計	2010	1054	1023	2077			

年間指導計画(シラバス)

教科名		対象学年	開講学期	区分
関係法規・制度		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	法学部卒業後、現役美容師としてサロンを経営している			
科目概要				
美容師として遵守すべき美容師法、衛生法規について学ぶ				
学習到達目標				
社会における法制度の意義と、美容師として遵守すべき美容師法および美容に関する衛生法規を具体的事例から学習し理解できるように、美容師国家試験の関連問題が解けるようになる				
評価方法				
定期試験(筆記)の他にワークシートの完成、授業へ積極性を考慮し、出席点8、ワークシート点16、テスト点76の合計100点中60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 法制度の概要	社会規範と法制度の概説	3	
	法の形式	憲法と法律・命令・条例の関係についての概説		
5	第2章 衛生行政の概要	衛生法規の体系の解説	5	
	衛生を担う行政機関	保健所の業務内容の解説		
6	第3章 美容師法	美容師法の目的の概説	3	
	美容師法の体系	憲法の理念と美容師法の関係についての解説		
7	美容の定義	法律用語としての美容の意味の解説	2	
8	美容師とは何か	美容師の定義とその資格の解説	1	
9	美容師養成施設	美容師養成施設の役割の解説	4	
	美容師の免許と登録	美容師免許と登録制度の解説		
10	管理美容師	管理美容師の資格とその責務の紹介	3	
	美容師の義務	美容師の業務上の義務の解説		
	美容所の開設	開設時に届け出をする諸事項の解説		
11	開設者が講ずべき衛生措置	開設者の義務の紹介	2	
	美容所以外での義務	美容を行う場所の開設		
12	立ち入り監査	立ち入り検査への対応についての解説	3	
	違反者に対する行政処分	各行政処分に関する解説		
1	罰則	美容師法第18条の詳説	3	
	第4章 関連法規	生衛法の解説		
2	美容組合	美容組合に関する解説		
	地域保健法	保健所と美容所の関わりについての解説	2	
	労働法	開設者または従業員としての心構えの解説		
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「関係法規・制度」、法令集			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	各種規範の社会的背景も理解すること			

教科名	対象学年	開講学期	区分
衛生管理	2年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫		講義	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	現役美容師として10年以上従事		
科目概要			
公衆衛生、環境衛生を学び、美容所における消毒の意義を理解し、実践方法を学ぶ			
学習到達目標			
美容師に関連する衛生措置、具体的な消毒方法を理解して身につけることができ、美容師国家試験の関連問題が解けるようになる。			
評価方法			
定期試験(筆記)76点の他、出席8点、授業への積極性16点を加味して、計100点中60点以上を合格とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	第3編 感染症	細菌とウイルスの構造を知る	6
	感染症の予防 感染症各論	概念用語の説明 具体的な感染症の詳説	
	具体的な対策の例	美容所での消毒作業を知る	
5	第4編衛生管理技術 消毒に関する法規	消毒の概説 消毒に関する法規の紹介	6
	消毒法の種類 理学的消毒法	消毒法の種類の紹介 理学的消毒法の解説	
6	化学的消毒法 希釈法	化学的消毒法の解説 水溶液の作り方の解説	6
	器具の種類と消毒法	適性な消毒方法の選択	
7	第5編衛生管理の実践例	具体的な衛生管理技術の詳説	4
8	公衆衛生の総復習	公衆衛生の重要事項の確認	2
9	環境衛生の総復習	環境衛生の重要事項の確認	8
10	感染症総論	感染症総論の重要事項の確認	6
11	感染症各論	感染症各論の重要事項の確認	6
12	消毒法総論	消毒法の総論の重要事項の確認	6
	希釈法	希釈するための計算練習	
1	国家試験対策	公衆衛生関連の過去問題の傾向と対策	6
		公衆衛生関連問題の要点整理	
		環境衛生関連の過去問題の傾向と対策	
		環境衛生関連問題の要点整理	
		感染症関連の過去問題の傾向と対策	
2		感染症関連問題の要点整理	6
		消毒法関連の過去問題の傾向と対策	
		消毒法関連問題の要点整理	
		模擬問題を使った演習	
		時数合計	
教科書	日本理容美容教育センター発行「衛生管理」		
使用教材	授業ごとに配布するワークシート		
留意点	国家試験対策も随時行う。		

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として10年以上従事			
科目概要				
公衆衛生、環境衛生を学び、美容所における消毒の意義を理解し、実践方法を学ぶ				
学習到達目標				
美容所における衛生措置、消毒方法を理解して実践できるようになる				
評価方法				
定期試験(筆記)76点の他、出席8点、授業への積極性16点を加味して、計100点中60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1編 公衆衛生	公衆衛生の概要	3	
	公衆衛生の歴史	公衆衛生の歴史的経緯と発展の紹介		
	消毒法の歴史	消毒法の発展とその効用を理解する		
5	美容師と公衆衛生	美容業と公衆衛生の意義について理解する	5	
	保健所と美容業	保健所の業務内容の解説		
	母子保健	母子保健の意義の理解		
6	成人・高齢者保健	日本人の健康について理解する	3	
	介護保険制度	介護保険制度の概要を理解する		
	精神保健	精神保健の目的を理解する		
7	第2編 環境衛生	環境基準の紹介	2	
	生活環境	快適な衣食住の条件を理解する		
		上下水道のあり方の概説		
8	廃棄物	美容所から出る廃棄物の扱い方	1	
9	衛生害虫	美容業と関わる害虫がもたらす感染症を知る	4	
	第3編 感染症	感染症の概説		
10	感染症の分類	感染症の取り扱い方	3	
	病原微生物	病原微生物の性質に関する解説		
11	感染症の予防	予防手段の解説	2	
	感染症法	1～5類感染症の詳説		
12	病原微生物	細菌とウイルスの構造を知る	3	
	感染症の予防	概念用語の説明		
1	感染症各論	具体的な感染症の詳説	3	
2	具体的な対策の例	美容所での消毒作業を知る	2	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「衛生管理」			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	消毒が実際のサロンワークとしてイメージできるようにすること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
保健		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役薬剤師			
科目概要				
人体の構造、機能、皮膚科学を学ぶ				
学習到達目標				
人体の構造及び機能、皮膚科学を学ぶことにより、表面的な美を追求するだけでなく、健康と美の結びつきの重要性が理解でき、実践できる美容師になることができる。また早期より国家試験の問題を数多く解くことによって、国家試験合格にむけての基礎が修得できる。				
評価方法				
期末試験と提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第2編 皮膚科学	第6章 皮膚及び付属器官の疾患③④⑤	4	
5		皮膚及び付属器官の疾患⑥⑦⑧	3	
		皮膚疾患総合問題		
6		期末テスト対策	4	
7		期末テスト 解説	1	
8	第1編	国家試験対策NO. 1～3 復習と問題解説	1	
9	人体の構造と機能	国家試験対策NO. 4～6 復習と問題解説	3	
10	総まとめ	国家試験対策NO. 7～8 復習と問題解説	3	
11		期末テスト対策 期末テスト	2	
		国家試験対策NO. 9 解説		
12		国家試験対策No. 10～13、国試過去問(保健)	4	
1		国家試験対策NO. 14～17、国試過去問(保健)	3	
2		期末テスト	3	
		期末テスト 解説		
		国家試験対策ファイナル 人体の構造と機能		
		国家試験対策 ファイナル 皮膚科学		
		国家試験対策 国家試験想問題		
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行 『保健』			
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめワークシートと練習問題 国家試験対策ワークシート			
留意点	多くの過去問題や演習問題を解きます。苦手な部分を発見ができ、克服していきます。			

教科名	対象学年	開講学期	区分
保健	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子		講義	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	現役薬剤師		
科目概要			
人体の構造、機能、皮膚科学を学ぶ			
学習到達目標			
人体の構造及び機能、皮膚科学を学ぶ。表面的な美を追求するだけでなく、健康と美の結びつきの重要性が理解でき、実践できる美容師になることができる。また、早期より国家試験の問題を数多く解くことによって 国家試験合格にむけて基礎が修得できる。			
評価方法			
期末試験、提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	第1編 人体の構造 および機能	第1章 頭部頸部体表の解剖学 国試問題演習	6
5		第2章 骨格器系① 第2章 骨格器系② 国試過去問演習 第3章 筋系 国試過去問演習 第4章 神経系①	8
6		第4章 神経系② 国試過去問演習 第5章 感覚器系 国試過去問演習	6
7		テスト対策 期末テスト解説	6
8		第6章 血液・循環器系①	2
9		第6章 血液・循環器系② 国試過去問演習 第7章 呼吸器 国試過去問演習 第8章 消化器①	6
10		第8章 消化器② 国試過去問演習 第1編 人体の構造および機能 総まとめ演習	6
11		テスト対策 期末テスト解説	8
	第2編 皮膚科学	第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能①②	
12		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能③	4
1		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能④⑤ 第5章 皮膚及び付属器官の保健①	6
2		第5章 皮膚及び付属器官の保健②テスト対策 期末テスト テスト解説	4
		第6章 皮膚および皮膚器官の疾患①②	
		時数合計	62
教科書	日本理容美容教育センター 発行 『保健』		
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめのワークシートと練習問題		
留意点	各章ごとにワークシートに書き込みをして、提出すること		

教科名		対象学年	開講学期	区分
香粧品化学		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
美容に関連する香粧品の基礎や、その種類や使用目的、成分について学ぶ。				
学習到達目標				
香粧品の成分、作用、使用方法の知識を習得し、美容で使用する香粧品を化学的な視点でみることができるようになる。また美容師国家試験の関連問題が解けるだけの学力をつけることができる。				
評価方法				
期末試験(筆記)、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	2-1章スキンケア製品	香粧品の効果と使用プロセス	3	
		クレンジング用香粧品		
		コンディショニング用香粧品		
5	2-2章メイクアップ製品	トリートメント用香粧品	4	
		メイクアップ製品の種類と造形		
		ベースメイクアップ		
		ポイントメイクアップ		
6		アイメイクアップ製品	3	
		まつ毛ケア製品		
		ネイルメイクアップ製品		
7	2-3章ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品	ネイルケア製品	3	
		ヘアクレンジング		
		ヘアコンディショニング		
9		ヘアスタイリング、パーマ剤	3	
10		ヘアカラー製品	3	
11		スカルプケア製品	5	
12	国家試験対策	国家試験過去問演習	2	
1			2	
2			3	
2			3	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行『香粧品化学』			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分	
香粧品化学		1年	通年	必修	
担当教員			授業方法	時間数(単位数)	
石橋 正吉			講義	31(1)	
実務経験	実務経験内容				
無					
科目概要					
美容に関連する香粧品の基礎や、その種類や使用目的、成分について学ぶ。					
学習到達目標					
美容に関する香粧品の種類、使用目的、成分等がわかるようになる。国家試験の関連問題が解けるだけの学力、応用力をつけることができる。					
評価方法					
期末試験、60点以上を合格とする					
授業計画					
月	単元名	指導内容	時数		
4	1章 香粧品総論	1.香粧品とは	3		
		2.香粧品と造形			
		3.香粧品の効果と使用プロセス			
5	2章 香粧品を使用の際の注意点	1.香粧品の使用による症状	4		
		2.香粧品の定義と法規制			
		3.香粧品の効果と使用プロセス安全性と安定性			
6	3章 香粧品の成り立ち	1.香粧品成り立ち	4		
		2.水と親水性溶媒			
		3.油性原料			
7	3章 香粧品の成り立ち	4.界面活性剤, 5.高分子化合物	2		
9		6.色材	4		
10		7.香料	4		
11		8.製品を安定させる配合原料	2		
12		9.その他の機能性配合原料	3		
1		10.雑貨原料	3		
2		まとめ	まとめの問題	2	
			時数合計	31	
教科書		日本理容美容教育センター発行「香粧品化学」			
使用教材		ワークブック、国家試験過去問題			
留意点					

教科名		対象学年	開講学期	区分
文化論		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
理容美容文化の歴史を学び、髪型、服飾の変遷について学ぶ。				
学習到達目標				
1. 理容・美容文化歴史から髪型、服飾の変遷がわかるようになる。 2. 礼装の種類がわかるようになる。 3. 国家試験問題が解けるようになる				
評価方法				
期末試験(筆記)・平常点(提出物と授業態度など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	3章日本編・4章西洋編	1年時の振り返り 12.現代(2000～2010年代)～16.現代	3	
5	4章	1.古代エジプト～3.古代ゲルマン 4.中世ヨーロッパ～5.近世I(16世紀) 練習問題	5	
6	4章	6.近世II(17世紀) 7.近世III(18世紀)	3	
7	4章	テスト練習問題・期末試験解説・9.近代I(18世紀末～19世紀初)	2	
8	4章	10.近代II(19世紀)	1	
9	4章	11.現代I(1910年代～1920年代) 12.現代II(1930年代～1940年代)	4	
10	4章	13.現代III(1960年代) 14.現代IV(1970年代) 練習問題	3	
11	4章	15.現代V(1980年代) 16.現代VI(1990年代～2010年)	2	
12	4章・5章礼装	テスト練習問題・期末試験解説・和装・洋装の礼装	3	
		国試対策		
1		国試対策	3	
2		国試対策	2	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「文化論」			
使用教材	DVD、参考資料、授業プリント			
留意点	期末試験(85～90点)、提出物・授業態度(10～15点)合計100点とする			

教科名		対象学年	開講学期	区分
文化論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
理容美容文化の歴史を学び、髪型、服飾の変遷について学ぶ。				
学習到達目標				
美容の歴史から各時代の髪型・装飾の変遷がわかるようになり、美容の歴史を人に語るができるようになる。また、国家試験に合格できるだけの知識を身につけることができる。				
評価方法				
期末テスト(筆記)80点・平常点(出欠状況、取り組み方、提出物等)20点 合計60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	1章・2章	1.総論 2.日本の理美容業の歴史の発生～江戸時代	3	
5	2章	3. 4. 近代～現代の理容・美容業	3	
6	3章	1. 縄文 ～ 2. 古代(平安) 3. 中世	4	
7	3章	テスト練習問題・期末テスト解説 4. 近世	3	
9	3章	5. 江戸時代①②③ 6近代(明治)	3	
10	3章	7(大正)・8(20昭和時代)	4	
11	3章	9. 現代 1945年～10.70年代まで	2	
12	3章	5章礼装①和装 テスト練習問題・期末テスト解説	3	
1	3章	10.70年代 テスト練習問題・提出物確認	3	
2	3章	期末試験解説・11. 1980～90年代	3	
			時数合計	31
教科書	日本理容美容教育センター発行「文化論」			
使用教材	DVD、参考資料、授業プリント			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容技術理論		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
美容の基礎的理論から用具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。				
学習到達目標				
美容師として必要な基礎的な理論が理解できるようになり、国家試験問題を解くことができるようになる。				
評価方法				
期末試験・平常点(出席状況・提出物・授業態度などから評価)、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	3章 ヘアデザイン	美容とデザイン、練習問題	6	
5	2章シャンプーング	シャンプーング、ヘッドスパ 練習問題	10	
	4章ヘアカットイング	7ベーシックカット、8シザーズ、9レザークット、練習問題		
6	5章パーマネントウェーピング	パーマネントウェーブ技術 練習問題	6	
	7章ヘアカラーリング	1.概論 2.種類 3.タイプ別特徴 4.メカニズム 練習問題		
7	6章ヘアセッティング	9.バックコーミング、10.アップ、11.ウィッグヘアピース 練習問題	4	
8	各章	期末試験解説	2	
9	6章	アイロンセッティング、ブロー、練習問題	8	
10	8章・9章	フェイシャルケア、マッサージ、パッド・ネイルケア、アーティフィシャルネイル	6	
	10章	ブライダルメイク、修整メイク 練習問題		
11	11章	結髪道具・技術・手入れ・かつら、練習問題・期末試験解説	4	
12	12章	着付け各技術、和装花嫁、洋装花嫁 練習問題	6	
1		国家試験対策(模試)	6	
2		期末試験解説・国家試験対策(模試)	4	
			62	
教科書	日本理容美容教育センター発行「美容技術理論①」「美容技術理論②」			
使用教材	授業プリント・ワークブック・参考資料プリント・参考教材・美容機械等			
留意点	期末試験(90点)、提出物と授業態度(10点)合計100点とする			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容技術理論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	93(3)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
美容の基礎的理論から用具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。				
学習到達目標				
美容師として必要な基礎的な理論が理解できるようになり、国家試験問題が解けるだけの知識がつく。				
評価方法				
期末試験・平常点(出席状況・提出物・授業態度などから評価)、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	序章	1.美容理論と技術 2.作業姿勢 3.人体各部名称・練習問題	9	
	1章	1.美容技術における用具 2.コム 3.ブラシ 4.シザーズ 5.レザー		
	4章	1章練習問題 4-3.美容刃物 2.シザーズ、レザーの扱い方		
5	1章・4章	4.カットの姿勢 5.ブロッキング・4章練習問題	11	
	1章・5章	6.ピン類・ヘアクリップ 7. ロット		
6	5章	1.パーマメントウェーブの理論(歴史と現在)・5章練習問題	9	
	1章・6章	8.ローラー、1章練習問題 6-1ヘアセットイングとは 2.ヘアパーティング		
7	6章	3.ヘアシッピング・4ヘアカーリング 5.ヘアウェービング・6章練習問題	10	
	8章	1.エステティック概論、2.皮膚の生理と構造、8章練習問題、期末試験解説		
8・9	9章	1.ネイル技術概論と種類 2.爪の構造と機能	8	
	9・10章	5.ネイルケア 10-1メイクアップ概論、10-6 メイクアップ道具と消毒		
	1・2章	9.ヘアアイロン 10.ヘアドライヤー、2-1 シャンプーイング総論、2.サイトシャンプー		
10	1章・5章	11.ヘアスチーマー、12.遠赤外線機、5-3 パーマ剤の分類 4.注意事項 1.2.5章練習問題	12	
	10章	3.フェイスプロポーション 4.色彩について 5.パーソナルカラー		
11	8章・10章	8-3 カウンセリング 練習問題 10-7 メイクアップ 10章練習問題、期末試験解説	9	
12	2章・4章	2-4 リンス・コンディショナー・トリートメント 5.スカルプトリートメント 4-6 ヘアカットイングの基礎理論	7	
1	11章	1.日本髪由来 2.結髪道具 3.種類と特徴・練習問題	10	
	12章	1.着付けの目的 2.礼装 7.各部名称 8.着物のたたみ方		
2・3	2・4・12章	2・4・12章練習問題、期末試験解説	8	
	各章	一年間のまとめ・プリントの整理		
			93	
教科書	日本理容美容教育センター発行「技術理論①」「技術理論②」			
使用教材	授業プリント、参考資料、DVD、美容機器等			
留意点	期末試験(90点)、平常点(出席率・提出物・授業態度などで10点)合計100点とする			

教科名		対象学年	開講学期	区分
運営管理		2年	1・2学期	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容商材ディーラー経営者、美容師として美容室勤務経験有り			
科目概要				
サロン運営に必要な経営管理、労務管理の基礎、接客マナー、マーケティングなどを学ぶ				
学習到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職する心構え、開業するための基礎知識、お客様の大切さ等が理解できるようになる。 ・国家試験に合格できるだけの知識を身につけることができる。 				
評価方法				
期末試験(筆記)から学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第1章 経営とは経営者とは	経営が必要とされる理由 経営とは何か		6
	第1章 経営とは経営者とは	経営資源と経営計画		
	第2章 理容業・美容業の経営	理容・美容業界の現状 競争の変化		
	第3章 資金の管理	資金管理とは コストを管理する		
5	第3章 資金の管理	収支と損益 会計の考え方		8
	第3章 資金の管理	コストを管理する 税金について		
	第2編 人という資源	人の能力を高める		
	第1章 人という資源	人をやる気にさせるために 給与		
6	第1章 人という資源	福利厚生 労働者の権利		6
	第2章 健康・安全な職場環境	健康管理の基礎		
	第2章 健康・安全な職場環境	理容・美容業の仕事と健康 健康問題		
7	第3章 従業員の視点から	社会人としての責任 社会保険		4
	第3章 従業員の視点から	社会保険 キャリアプラン		
	第3編 顧客のために	サービス・デザイン		
8	第1章 サービス・デザイン	価値の実態 価値の多様性		2
	第1章 サービス・デザイン	サービスの範囲		
	第2章 マーケティング	マーケティング、マーケティング		
9	第2章 マーケティング	マーケティングミックスの要因		2
		マーケティングミックスの要因		
11	第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解 接客の実践、総まとめ		2
2		国家試験対策		1
			時数合計	31
教科書	日本理容美容教育センター 発行「運営管理」			
使用教材	筆記用具			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカutting		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアカットに必要なシザーズの持ち方、姿勢、カットの基本から学び、国家試験課題のカットスタイルを習得する				
学習到達目標				
用具が正しく扱うことができるようになり、ベーシックなカットが出来るようになる。				
評価方法				
期末試験(実技)実技80点、平常点20点(受講態度、持参品など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第4章ヘアcutting	用具の取り扱い方	4	
5	第4章ヘアcutting	ワンレングス(まっすぐ)	8	
6	第4章ヘアcutting	ワンレングス(前下がり)	6	
7	第4章ヘアcutting	ワンレングス(前上がり)	4	
8	第4章ヘアcutting	復習	2	
9	第4章ヘアcutting	グラデーション45度	6	
10	第4章ヘアcutting	グラデーション60度	8	
11	第4章ヘアcutting	セイルレングス(後ろ)	6	
12	第4章ヘアcutting	セイルレングス(前)	4	
1	第4章ヘアcutting	レイヤー(国試)	8	
2	第4章ヘアcutting	レイヤー(国試)	6	
			時数合計	62
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	カット用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋 英里奈			実習	58(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアセットの基礎から、コームの持ち方、フィンガーウェーブの作り方などを学び、国家試験課題のスタイル技術の習得する				
学習到達目標				
国家試験課題の6線7段の構成を理解し、作成できるようになる				
評価方法				
期末試験(実技)、平常点(授業時持参品、取り組み方、出席状況等)から評価。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	6章 ヘアセットイング	実習用具確認	6	
		ヘアセットイングとは		
		フィンガーウェーブのやり方		
5		ノーパート7段構成(1～3段)	8	
6		ノーパート7段構成(4～7段)	6	
7		ヘアカーリング理論と実践	4	
		スカルプチュアカール作り方		
		スカルプチュアカール(フロント)		
9		スカルプチュアカール(3段目、フロント)	4	
10		リフトカール4段目	10	
11		リフトカール5段目	6	
1		メイポールカール、クロッキノールカール	4	
		全頭仕上げ練習	6	
2		全頭仕上げ練習	4	
			58	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、実技課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式、			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋 英里奈 ・ 田代 恭也(AT)			実習	55(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有り			
科目概要				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及びパーマメントウェービング技術の知識を習得する				
学習到達目標				
国家試験課題のワインディングデザイン巻きが22分のできるようになる。またコンクールに入賞できるようになる。				
評価方法				
期末試験(実技)、平常点(授業の出席状況、提出物、授業の受講態度など)から評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマメントウェービング*	使用道具の説明	4	
		コームの持ち方、動かし方		
		ロッドセッティング、ゴムの留め方		
		ワインディングのブロッキング		
		ロッドの巻き方(上巻き、下巻き)		
5		ワインディングのブロッキング	6	
		全頭きれい巻き、フェス展示作品作り		
6		復習、全頭完成60分	6	
7		全頭構成タイム短縮	6	
9		ワインディングのブロッキング	6	
		全頭構成タイム短縮、きれい巻き、		
		コンクール対策		
10		全頭構成タイム25分目標	6	
11		試験対策	4	
12		細かいテクニックの確認	6	
1		校内コンクール対策	5	
2		全頭22分 国家課題に向けて	6	
			時数合計	55
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ネイル		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	60(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロン勤務経験有			
科目概要				
ネイリストとしての基本的な技能及び知識を習得する。				
学習到達目標				
ネイルケア、ネイルアート、カラーリングにおいて正しく用具を扱い、安全に技術が出来るようになる。				
評価方法				
テスト(実技・筆記)80点、平常点(出欠状況・取り組み方・提出物等)20点 合計60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	8章 ネイル技術	ネイルケア、ネイルの歴史	2	
9		ネイルケア、技術の手順	12	
		カラーリング、衛生と消毒		
10		カラーリング、爪の構造(皮膚科学)	12	
		ネイルアート、爪の病気とトラブル		
11		ネイルアート、検定の手順	8	
12		ネイリスト検定3級対策	10	
1		ネイリスト検定3級対策・研修	16	
		時数合計	60	
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイリスト技能検定試験公式問題集、技術理論2			
使用教材	ネイル用具一式			
留意点	相モデルでの授業有。検定は筆記と実技有			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	61(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有。			
科目概要				
美容師としての基本的なメイクアップの技能及び知識を身につける。				
学習到達目標				
ベーシックなメイクアップ料の使い方を習得し、日常にふさわしく、イメージアップさせるメイクが出来るようになる。				
評価方法				
テスト(実技・筆記)80点、平常点(出欠状況・取り組み方・提出物等)20点 合計60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	10章メイクアップ	Chapter1～6 ベースメイクアップまで		14
5		Chapter6・7 ベースメイクアップの仕上げまで		14
6		Chapter8～10 目元・眉・唇・学科試験対策		14
7		メイク検定2級対策 通し練習		15
10		韓国風メイク		4
			時数合計	61
教科書	SBSメイクアップテキスト、技術理論2			
使用教材	メイク用具一式			
留意点	メイクは、相モデルの授業有。検定は筆記と実技有(メイクは相モデル)			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
まつ毛エクステンション		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	単位数(時間数)
高橋 英里奈			実習	35
実務経験	実務経験内容			
有	まつ毛エクステンションメーカーに勤務経験有。まつげエクステンション講師として従事していた経験有。			
科目概要				
まつ毛エクステンションの知識・技術を学ぶ				
学習到達目標				
まつげエクステンションに関する基本的な技能及び知識を習得できる。 ABE アイラッシュエクステンションアシスタントディレクター資格取得をするだけの知識と技能を身につけることができる。				
評価方法				
作品の仕上がり、授業の出席状況や意欲、態度などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	まつげエクステンション	まつげエクステンション概論	3	
		まつげエクステンションの用具		
		衛生管理		
		保健		
5		カウンセリング	5	
		事前準備		
		エクステンションの装着		
6		エクステンションのリムービング	3	
7		エクステンションの装着(タイム短縮)	3	
9		検定対策	6	
10		エクステンションの装着(タイム短縮)	6	
		まとめ・検定受験		
11		検定対策	3	
12		検定対策	6	
			時数合計	35
教科書	日本理容美容教育センター 発行「まつげエクステンション」			
使用教材	まつげエクステンション用具一式			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 シャンプー		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋 英里奈 ・ 井原 有美 ・ 田代 恭也(AT)			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
シャンプー技術に関する基本からサイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパなど様々な技術を学ぶ				
学習到達目標				
シャンプー時に行う肩にタオルをかけられるようになり、プレーンリンスやシャンプーができるようになる。また、ヘッドスパ3級検定試験に合格できる手技と知識が身につく。				
評価方法				
試験(実技・筆記)(80点)、提出物、持参品、衛生面、授業態度(計20点)合計100点として、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	2章シャンプーイング	シャンプー概論、シャンプー台の説明	6	
		タオルの掛け方、プレーンリンス		
5		プレーンリンス・サイドシャンプー	6	
6		サイドシャンプー	4	
7		サイドシャンプー・バックシャンプー	6	
8		サイドシャンプー・バックシャンプー	2	
9		バックシャンプー	8	
10		バックシャンプー	8	
11		バックシャンプー、ヘッドスパ	4	
12		ヘッドスパ	6	
1		ヘッドスパ検定対策	8	
2		ヘッドスパ検定対策	4	
		時数合計	62	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、日本ウエルネス・ヘッドスパ協会テキスト			
使用教材	道具一式、化粧品類等			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習(アップスタイル)		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			実習	58(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
アップスタイルに必要な基本技術から様々なアップスタイルを習得する				
学習到達目標				
アップスタイルに必要な基本技術ができるようになる。				
評価方法				
学期毎、授業の出欠状況、授業時の取り組み方、作品の完成度で評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章ヘアセッティング	道具の説明 ブラシの持ち方、使い方		6
		一束に結う ピンの開け方、留め方		
5		一束結び・カーリーロープ		6
		三つ編み、編み込みスタイル完成		
6		アップスタイル 作品1		8
7		アップスタイル 作品2		6
9		アップスタイル 作品2復習		6
10		アップスタイル 作品3		4
11		アップスタイル 作品4		4
12		アップスタイル 作品4 校内大会		6
1		アップスタイル		6
2		アップスタイル 作品1～4復習		6
			時数合計	58
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」			
使用教材	ブラシ コーム ダッカール ピン類 すき毛 ゴム類			
留意点	積極的に自主練習を行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカッティング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美			実習	124(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ベーシックなカットからを学習し、国家試験課題のカットスタイル技術を習得する				
学習到達目標				
ヘアカットの基礎的技術ができるようになり、国家試験課題のヘアスタイルが試験時間(20分)以内にカットできるようになる。				
評価方法				
期末試験(実技)実技90点、平常点10点(持参品、受講態度など)から評価。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第4章ヘアカット	1年時復習 正確なパネルの引き出し方		10
		ブラントカット ワンリングス		
5		レイヤーカット グラデーション		8
6		ストロークカット ポインティングカット		12
		スライシング		
7		セニングカット レザーカット テーパーカット		12
9		ベーシックスタイルの創作 実技試験に向けて		16
10		実技試験課題の解説 レイヤーカット		14
11		国家試験対策 第1課題		10
12		国家試験対策 第1課題		16
1		国家試験対策 第1課題		16
2		国家試験対策 サロンスタイル 創作スタイル		10
		時数合計		124
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	カット道具一式			
留意点	授業の出欠状況、取り組み方も評価に含む。自主練習を積極的に行ってください。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
国家試験課題スタイルのワインディング技術を習得し、パーマネントウェービング技術を学ぶ				
学習到達目標				
国家試験課題デザイン巻き(20分)が、審査基準を満たしたクオリティーで仕上げられるようになる。				
評価方法				
期末試験(衛生・実技)80点、平常点(出欠状況、取り組み方、提出物)20点、合計60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマネントウェービング	ブロッキング・構成確認	9	
5		国家試験スタイル19分 早巻き	6	
6		国家試験スタイル19分 早巻き	9	
7		国家試験スタイル20分	12	
9		グループワーク	12	
10		グループワーク・国試対策	12	
11		国試対策	9	
12		国試対策	12	
1		国試対策	12	
2		国試対策 全頭巻き復習	7	
			時数合計	100
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
国家試験課題のスタイルを解説して、フィンガーウェーブ、様々なピンカールを学び、ヘアセッティング技術を習得をする				
学習到達目標				
国家試験課題のオールウェーブセッティングの構成が理解できるようになり、国家試験課題(25分)が、審査基準を満たしたクオリティーで仕上げられるようになる。国家試験に合格できるだけの技術を身につけることができる。				
評価方法				
学期毎の期末試験(実技試験)と平常点(持ち物、授業態度、模試等)で60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第5章ヘアセッティング	1年次復習	9	
5		メイポールカール、クロッキノールカール練習	12	
6		全頭仕上げ練習	9	
7		課題構成確認	12	
9		オールウェーブセッティング 30分	6	
10		オールウェーブセッティング 27分	12	
11		オールウェーブセッティング 26分 国試対策	9	
12		国試対策	9	
1		国試対策	12	
2		国試対策	10	
			時数合計	100
教科書	技術理論1、実技試験課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行うこと。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習2		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美 ・ 田代 恭也(AT)			実習	93(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
基本的な技術からサイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパなど様々な技術を学ぶ				
学習到達目標				
美容師として必要なシャンプー技術ができるようになり、ヘッドスパ3級検定試験に合格できるだけの技術が身につく。検定終了後は、シャンプーの練習と、国家試験課題の技術が身につく。				
評価方法				
期末試験80点(実技)、平常点20点(提出物、持参品、衛生面、授業態度)から評価し60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	2章シャンプー・イング	ヘッドスパ		9
5		ヘッドスパ検定対策		12
6		ヘッドスパ検定対策		6
7		バックシャンプー		12
9		バックシャンプー		6
10		ヘッドスパ		12
11		国家試験対策		9
12		国家試験対策		9
1		国家試験対策		12
2		国家試験対策・シャンプー復習		6
		時数合計		93
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論」、日本ウエルネス・ヘッドスパ協会テキスト			
使用教材	道具一式、化粧品類等			
留意点	検定は筆記と実技有。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習1		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアカラーリングから多様な美容技術を習得する。国家試験課題の技術を習得する。				
学習到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・カラーリングの塗布ができるようになり、コンクール作品が入賞できるだけの技術を身につけることができる。 ・国家試験に合格できるだけの技術を身につけることができる 				
評価方法				
学期毎、授業の出欠状況、授業時の取り組み方、提出物、作品の完成度などから評価。60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第6章 ヘアセットイング	フォトコン制作、デザイン決め	6	
5	第6章 ヘアセットイング	カット、セットスタイル	8	
6	第7章 ヘアカラーリング	ブリーチ マニキュア	6	
7		ブリーチ マニキュア	6	
8		フォトコン作品完成	2	
9		ブロースタイル	8	
10		セットスタイル	4	
11		セットスタイル 国試対策	6	
12		国試対策	4	
1		国試対策	6	
2		国試対策 実用的技術復習	6	
			62	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」			
使用教材	タオル、ドライヤー、ブラシ類、アップ道具一式、カラー道具一式等			
留意点	コンクール作品で使う飾り等は各自で用意する			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美術・デッサン		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫 ・ 古川 久容			講義	76
実務経験	実務経験内容			
有	美術系スクールの講師経験有			
科目概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基礎から学び、パーソナルカラー検定の2級資格取得を目指す ・スタイル画の基本の理解し、デザイン画を描く。 				
学習到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・J-colorパーソナルカラー3級、2級検定試験に合格できるだけの知識が身につく、自分ブランディングができるようになる。アドバイザーや、サロンワークで活かせる力が身につくようになる。 ・トレーストレーニングをして、デザイン画が描けるようになる。 				
評価方法				
期末試験(筆記)と平常点(授業の出席状況、授業時の取り組み方)で評価し、60点以上合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	パーソナルカラー3級	パーソナルカラーの基礎理論	8	
	序章	色の三属性 色相 明度 彩度		
	1章 2章	4シーズンに合わせた三属性の理解		
5	2章 3章 4章	対比 反射 吸収について理解	6	
		色相對比 明度対比 彩度対比 理解と演習		
6	5章 6章	4シーズンの系統色名と慣用色名について似合う	6	
		コーディネート方法について		
7		3級検定に向けてのポイントまとめ	4	
8		3級ポイントまとめ	2	
9	パーソナルカラー2級	パーソナルカラー活用アドバイザーとは	6	
	序章 1章	PCCSシステムについて		
10	2章	配色演習 統一と変化の考え方について	6	
11	3章	色素をもとにしたコミュニケーション	8	
12	5章 6章	三属性を中心としたドレーピング方法	6	
		簡易ドレープカードを使っての練習		
1	7章 ヘアスタイル画	コーディネートのアドバイスの提案を具体的に演習	12	
	検定対策	顔(目・鼻・口)の位置づけを数字的に覚える		
2	検定対策	2級検定に向けて 4シーズンの特徴まとめ	10	
	ヘアスタイル画	ポイント中心にまとめ問題		
3		作品制作 デッサン	2	
		時数合計	76	
教科書	J-colorパーソナルカラー3級・2級テキスト、日本理容美容教育センター 発行「ヘアスタイル画によるトータルファッション」			
使用教材	色相環 トーン表 4シーズンボード カラーカード、デッサン用具、ケント紙			
留意点	2年間で124時間(4単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎1		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
国家試験各教科の演習や、社会人として必要な知識を学ぶ				
学習到達目標				
国家試験過去問題の演習、問題が理解できるようになり、美容師国家試験の関連問題が解けるようになる。				
評価方法				
授業演習の獲得点、レポート提出が20点、期末試験が80点、総合60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説	3	
5	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説	3	
6	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説	3	
7	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説	3	
9	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	3	
10	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	4	
11	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	3	
12	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	3	
1	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	3	
2	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説	3	
			時数合計	31
教科書	無			
使用教材	国家試験過去問題			
留意点	国家試験合格の知識の習得			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2		2年	2・3学期	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
板垣 典明			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
国家試験各教科の演習や、社会人としてマナーや必要な知識を学ぶ				
学習到達目標				
社会人としてのマナーや知識が身につく。国家試験過去問題の反復練習により、美容師国家試験の関連問題の基礎力を身につけることができる。				
評価方法				
授業演習問題の獲得点、期末試験(筆記)の他に、レポート提出等、総合的に判断。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
9	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	4	
10	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	10	
		挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習		
		マナー、国家試験過去問題の演習		
11	国家試験対策	マナー、国家試験過去問題の演習	4	
		接遇復習、国家試験過去問題の演習		
12	国家試験対策	マナー、国家試験過去問題の演習	4	
		マナー、国家試験過去問題の演習		
1	国家試験対策	国家試験過去問題の演習	8	
		国家試験過去問題の演習		
		国家試験過去問題の演習		
		国家試験過去問題の演習		
2	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	1	
		マナー復習、国家試験過去問題の演習		
			時数合計	31
教科書				
使用教材	国家試験過去問題プリント、ワークブック			
留意点	国家試験合格のため、多くの問題に触れる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2(接客・マナー)		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
板垣 典明			講義及び演習	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
お客様に対する適切な言葉遣い、所作を学ぶ				
学習到達目標				
サロンワークに必要な「接客・マナー」を身につけ、併せてSBS(全美連)接客・マナー3級・2級検定資格の取得することができる。				
評価方法				
期末試験(筆記)結果及び、平常点(提出物の内容)を総合的に勘案し60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 学校内マナー 第2章 学校内マナーと美容室接客の共通スキル	オリエンテーション「美容師としての接客・マナーの重要性」挨拶・分離礼・おもてなしの心・接客と接客 周りの人への接し方・ルールを守る・学校内の各部屋でのマナー・身だしなみ・表情・椅子への座り方・立ち方・歩き方 話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉①②	3	
5	第2章 学校内マナーと美容室接客の共通スキル	話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉③ 話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉④ SBS接客・マナー3級検定模擬	3	
6	第3章 美容室での業務の流れ	SBS接客・マナー3級検定試験 オリエンテーション接客・マナー2級 履歴書による自己表現 履歴書作成① 履歴書作成②	4	
7		履歴書作成③	2	
9		就職面接での自己表現 就職面接にあたっての留意事項	4	
10		接客・マナー2級面接①②③(個人面接)	4	
11	2級コミュニケーションスキル研究	接客・マナー2級面接④(個人面接) 接客・マナー2級面接⑤(個人面接)	1	
12		お客様対応の考え方研究 ロールプレイング演習「台本作成」 ロールプレイング演習「事例1」	3	
1		ロールプレイング演習「事例1・2」	3	
2		ロールプレイング演習「実技試験内容練習」 SBS接客・マナー2級検定筆記試験	4	
3		SBS接客・マナー2級検定実技試験		
		時数合計	31	
教科書	接客・マナー3級テキスト / 接客・マナー2級検定テキスト			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
栄養理論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	薬剤師			
科目概要				
健康や美容のための栄養素や食生活についての基本が理解できる。				
学習到達目標				
美を追求する美容師として、皮膚や毛髪をはじめとする皮膚付属器官の栄養は食物から摂取することの大切さがわかるようになる。また、健康や美を保つための栄養素や食生活についての基本が理解できるようになる。				
評価方法				
期末試験、提出物の内容等から学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	体のリズム	体のリズム 睡眠のメカニズム 練習問題	6	
	五大栄養素の概要	五大栄養素の特徴と主な働きについて		
5	消化・吸収	消化の仕組みと吸収機構について	8	
	栄養素の働き	炭水化物 糖質と食物繊維 練習問題 脂質 トリグリセリドと脂肪酸		
6		タンパク質とアミノ酸	6	
		期末テスト対策 期末テスト		
7		アミノ酸スコア	4	
8		ビタミン	2	
9		ビタミン 脂溶性	6	
10		ビタミン 水溶性	8	
		ミネラルについて①		
11		テスト対策 期末テスト	6	
		水について		
		アルコールについて		
12		たばこの害について	4	
		アルコールについて		
1	エネルギー	エネルギー生成の仕組み	6	
		基礎代謝 1日の消費エネルギー		
2	栄養素のとり方	症状別栄養素のとり方	6	
		テスト対策 期末テスト		
			時数合計	62
教科書	西東社 発行 『きちんとわかる栄養学』			
使用教材	各章ごとに制作したワークシートと練習問題 東京法令出版(株) 発行 新食品成分表			
留意点	各項目ごとに、より深く理解してもらうために、練習問題を実施していきます			

教科名		対象学年	開講学期	区分
エステティック・着付		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田孝子・白石美和子			講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有。着付けの従事経験が有。			
科目概要				
エステ、着付けの基礎知識、技術の習得。またSBSエステ検定、着付け検定の3級取得を目指す				
学習到達目標				
フェイシャルエステの基本的なハンドテクニックや、浴衣や着物の着付けができるようになり、SBSエステ検定3級、着付け検定3級の取得ができる知識と技術を身につけることができる。				
評価方法				
学期毎試験(筆記又は実技)と、平常点(授業の出席状況、受講態度など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	エステティック概論	セッティングの仕方 スポンジの拭き取り手順確認		6
	着付け概論	名称、準備、人台へ肌襦袢、補整の手順		
5	消毒	ポイントクレンジング・ハンドクレンジング手順確認		6
	浴衣の着付け	浴衣着付け		
6	皮膚の生理と構造	ハンドクレンジング手順確認・クレンジング実習		6
	着付検定対策	着付け検定対策		
7	フェイシャルパック	クレンジング～マスクの塗布手順確認実習		8
	着付検定対策	着付け検定対策		
9	マッサージ理論	マッサージ手順確認 クレンジング～マッサージまで		6
	着付け	長襦袢までの着付け		
10	カウンセリング	マッサージ手順確認 クレンジング～マッサージまで		8
	着付け	小紋・色無地着付け		
11	エステ検定対策	エステ検定対策実習		8
	着付け	帯結び(二重太鼓)		
12	エステ検定対策	エステ検定対策実習		10
	着付け	袴着付け(相モデル)		
1	フェイシャルケア技術	全体通して実習・機械を使って実習		4
	着付け	袴着付け(相モデル)		
			時数合計	62
教科書	美容技術理論2・SBSエステ検定3級用テキスト、着付け検定3級用テキスト			
使用教材	エステティック道具一式、着付け用具一式			
留意点	エステは各々の肌の状態により、相モデルが出来ない場合がある			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択A ヘアメイクコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美・田代 恭也(AT)			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有			
科目概要				
ヘアカラーリングやカット等、様々な美容技術を習得する				
学習到達目標				
サロンワークに必要な基礎的技術ができるようになる。フォトコンテストに入賞できる技術を身につける。国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
授業の出欠状況、作品の出来映え、授業時の取り組み方等で学期毎評価し、60点以上合格とする。1学期、2学期を評価する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第6章	アップスタイル ピニング	16	
	ヘアセッティング	みつあみ あみこみ		
5		カット セット	16	
		ヘアブリーチ フォトコン制作		
6		マニキュア	14	
7		アイロン・メイク	10	
8		カラーリング	2	
9		フォトコン制作 写真撮影	12	
		コーンロー		
		エクステンション		
10		ブロードライ ワンレングス	14	
		デザインカット スタイリング		
11		国試対策	8	
12		国試対策	12	
1		国試対策	12	
2		国試対策、基礎技術の振り返り	8	
		時数合計	124	
教科書				
使用教材	美容用具一式、ブラシ ドライヤー ヘアアイロン セット・カット・カラー道具一式 ブリーチ剤 カラー剤			
留意点	授業以外に、放課後作品作り、写真撮影等があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択B ネイルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ネイル検定2級取得を目指し、理論・技術を習得する。				
学習到達目標				
サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、ネイルアートに関する技能や知識がつく。また、後期は美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方、作品の仕上がりなどから学期毎評価し、60点以上合格とする。1学期、2学期を評価する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ネイル	道具、用材類説明	16	
		チップラップ手順		
		検定説明		
5		チップラップ手順	16	
6		チップラップ・クリーンナップ(復習)	14	
7		ファイリング・クリーンナップ	10	
8		チップラップ・カラーリング・アート	2	
9		ネイリスト検定2級対策(通し練習)	12	
10		ネイリスト検定3級対策(通し練習)	14	
11		国家試験対策	8	
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	12	
2		国家試験対策、技術の復習	8	
		時数合計	124	
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック			
使用教材	ネイル用具一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択C ブライダルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫・白石美和子			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有り			
科目概要				
洋装・和装着付け、和装・洋装ヘアメイクの実践的な技術の習得				
学習到達目標				
ブライダルサロン業務内容が理解できるようになる。全美連(SBS)着付け2級検定が取得可能な知識が付き、技術が身につく。また、美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につけることができる。				
評価方法				
授業での作品の出来映え、出席状況、授業態度などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。1学期、2学期を評価する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	着付け技術	スタイル別メイク・ヘアセット・着付け(相モデル)	16	
5		スタイル別メイク・ヘアセット・着付け(相モデル)	16	
		洋装花嫁メイク・セット(相モデル)		
6		洋装花嫁メイク・セット(相モデル)	14	
7		振袖着付け・ヘアセット(相モデル)	10	
8		和装花嫁ヘアセット(相モデル)	2	
9		和装花嫁着付け・メイク・ヘアセット・留袖着付け(相モデル)	12	
10		留袖着付 検定対策	14	
11		留袖着付 検定対策	8	
		国家試験対策		
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	12	
2		国家試験対策	8	
			時数合計	124
教科書	技術理論2、美容実習2			
使用教材	タオル、足袋、メイク用具、ヘアセット用具、美容用具一式、着付け用具一式			
留意点	主に相モデルの授業です。必ずモデルと技術者の両方をやります。水化粧(首、襟足含)有			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択D エステティックコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有			
科目概要				
サロンで施術可能な程度の知識及び技能の習得をする				
学習到達目標				
SBSエステ検定2級資格取得をするだけの知識と技能を身につけることができる。また、美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につけることができる。				
評価方法				
試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上合格とする。1学期、2学期を評価する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	エステティック	道具、用材類説明		16
		クレンジング復習		
5		クレンジング復習		16
6		道具、用材類説明	脱毛	14
7		エステティック概論、機器概論		10
8		クレンジング		2
9		健康な皮膚の条件、肌分析	脱毛	12
10		マッサージ概論		14
11		ハンドトリートメント、マスク	脱毛	8
		国家試験対策		
12		国家試験対策		12
1		国家試験対策		12
2		国家試験対策		8
		時数合計		124
教科書	テキスト			
使用教材	エステ用品一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業			

教科名		対象学年	開講学期	区分
選択S		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有り			
科目概要				
ステージメイク、ヘアセットなどトータルビューティー等様々な美容についての技術習得の他、国家試験を習得する				
学習到達目標				
ヘアショーなど様々なセット、メイクや薬剤実習ができるようになり、また国家試験に合格できる技術と知識が身につけることができる				
評価方法				
作品、授業の出席状況、受講態度、持参品などから評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		6
5		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		6
6		パーマスタイル薬剤実習		6
7		パーマスタイル薬剤実習		6
9		パーマ薬剤実習		8
10		薬剤実習、試験対策		8
11		国家試験対策		6
12		国家試験対策		6
1		国家試験対策		6
2		国家試験対策、パーマ実習		4
			時数合計	62
教科書	技術理論1, 2			
使用教材	美容用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行う。授業時の取り組み姿勢も評価に含む			